

# 高等学校公民

その1

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

[1] 次の文を読んで、下の(1)～(7)の問いに答えなさい。

民主主義国家では、選挙で選ばれた議員が多数決原理にしたがって政策を決定し、その政策を行政機関が執行することによって、国民主権や基本的人権の保障を実現できると考えられてきた。しかし、現代においては、①社会保障の充実や産業の育成、あるいは環境保護など、国の政策分野が拡大し、複雑化している。これに対応して、行政機関の規模も拡大し続け、公務員数も増加した。その結果、多様な分野で社会の実状に適した行政を行うため、②テクノロジーが大きな役割を果たすようになった。

我が国でも、内閣提出法案の割合が高く、③委任立法も増えている。このような行政機能の拡大に対して、1980年代以降、「小さな政府」を目指す行政改革が推進されている。公務員の定数削減、市場開放や公益法人の制度改革など一連の規制緩和が進められ、平成10(1998)年には中央省庁等改革基本法が成立し、④中央省庁の再編や行政機関の見直しが行われた。国会でも、⑤政府委員制度が廃止されるなどの諸改革が実施された。平成5(1993)年には、⑥行政手続法が制定され、さらに平成17(2005)年には、同法の改正によりいわゆる⑦パブリックコメント制度が導入されている。

- (1) 下線部分①について、我が国の社会保障制度の一つに社会保険がある。現在の我が国の社会保険を5種類に分類した場合、それぞれの名称を書け。
- (2) 下線部分②とは何か、簡潔に説明せよ。
- (3) 下線部分③について、説明せよ。
- (4) 下線部分④について、諸政策に関する行政各部の総合調整等を任務として新設された行政機関は何か、書け。
- (5) 下線部分⑤について、この制度が廃止された理由について、説明せよ。
- (6) 下線部分⑥について、次のア、イの問いに答えよ。  
ア この法律が制定された目的を説明せよ。  
イ この法律では、行政指導の一般原則をどのように規定しているか、説明せよ。
- (7) 下線部分⑦について、どのような制度か、説明せよ。

[2] 次の文を読んで、下の(1)～(5)の問いに答えなさい。

国民経済の規模を測るには、2つの方法がある。1つは、これまでの経済活動でどれだけの富が貯蓄されているかというストックの概念で、特に一国におけるものを(a)と呼ぶ。これは、ある時点でその国が蓄積した建物・機械などの固定資本、土地、森林、住宅、在庫品などの有形資産に(b)を加えたもので、国民資本とも呼ばれる。我が国は有数のストック大国となったが、住宅・公園などの生活関連社会資本の整備は、まだ不足しているといわれている。2つめは、一定期間内にどれだけの生産が行われたかを測るフローの概念である。これに関する経済指標としては、①GNP、NNP、GDPなどがあり、これらを広義で国民所得と呼ぶことがある。以前は、GNPが広く用いられていたが、近年、経済のグローバル化によって、②GNPでは必ずしも国内経済の実態と合わない部分が出てきたため、GDPが多く用いられるようになった。

これらの指標は市場における財やサービスの取引を表したものである。そこで、国民の福祉水準を測るものとして、従来の指標に加え、NNWや③グリーンGDPなどの指標が提唱されている。また、国民経済の「量」を測る国民所得は、個々の国民生活の「質」の向上に結びついてこそ意味がある。今日の我が国では、資産格差や④所得格差などが拡大しつつあり、「格差社会」という指摘がなされている。

- (1) 文中(a)、(b)に当てはまる語句をそれぞれ書け。
- (2) 下線部分①について、それぞれの経済指標を説明せよ。
- (3) 下線部分②について、その理由を説明せよ。
- (4) 下線部分③について、どのような指標か、説明せよ。
- (5) 下線部分④について、右の図を用いてローレンツ曲線とジニ係数について、説明せよ。

